

平成 23 年 4 月の小学校学習指導要領の改訂に当たり、都立多摩図書館では、5 社の出版社の国語教科書で紹介された本が一覧できる「小学校国語教科書で紹介された本 1・2 年生」と「小学校国語教科書で紹介された本 3・4 年生」(『ぷらたなす 60 号・61 号』)を作成しました。冊子を選書の参考にしたり、学習会のテーマとして取り上げるなど様々に活用していただき、学校や図書館、読書活動などに関わる方からご好評をいただいております。

今回は、引き続き小学校 5 年生と 6 年生の国語教科書で紹介されている本をリストにしました。読書力も付き、精神的にも大きく成長する年代の国語の教科書で、どのような本を紹介しているかを知り、それぞれの場で読書活動にお役立ていただければ幸いです。

## 目 次

1	はじめに	・・・・・・・・・・	2
2	国語教科書で紹介された本	・・・・・・・・・・	4
	種類別冊数／出版社別冊数		
3	5 年生の国語教科書紹介本のリスト	・・・・・・・・	6
4	6 年生の国語教科書紹介本のリスト	・・・・・・・・	18

## はじめに

小学校の国語の教科書は、学校図書、教育出版、三省堂、東京書籍、光村図書出版の5社から発行されています。

5社で紹介された本は、5年生では309冊にのぼります。そのうち重複している本をのぞくと284点の本が紹介されています。6年生では338冊、299点が紹介されています。

小学校1年生から6年生までで紹介された本を一覧にすると、以下のようになります。

学年	冊数	点数	絵本	物語 昔話	ノンフィクション	日本語
1年	195	175	51%	22%	18%	9%
2年	358	331	32%	37%	23%	8%
3年	316	293	29%	34%	26%	11%
4年	347	321	21%	32%	38%	9%
5年	309	284	11%	37%	42%	10%
6年	338	299	7%	39%	45%	9%

1年生を除くと、どの学年でも300冊から350冊程度の本を紹介しており、学年の上下と紹介冊数の増減は関係がないようです。むしろ教科書により紹介冊数に大きな差があります。最も多く紹介している三省堂では5年生で86冊、6年生で98冊を取り上げている

一方、最も少ない学校図書ではそれぞれ 15 冊と 17 冊になっています。

種類別では、学年が上がるにつれて絵本の割合が減少し、物語とノンフィクションが増えています。日本語に関する本はどの学年も 10%程度の割合を占めています。

高学年では、ノンフィクションが全体の 40%を超えており、中学年まで取り上げられなかった調べ方の本や伝記が紹介されています。これは、文部科学省の新学習指導要領改訂のポイントに「先人の伝記、自然など児童生徒が感動する魅力的な教材の充実」が上がっていることに添っていると思われます。また、科学読み物（環境や産業も含む）についても「理数教育の充実」が挙げられているように、5年で 61 冊、6年で 37 冊が紹介されています。社会科学、人文科学系では、日本の伝統文化や戦争と平和に関する本が比較的多く、日本語に関する本では、詩が充実し、辞典類も多く挙げられています。